

MANY NO.442

令和2年8月27日(毎月第2・4週配信)MANY(Morality Active Network of Youth)

モラロジー青年活動ネットワーク メールマガジン

第1回 九州青年大学 in ZOOM

日時:令和2年9月20日 19時～20時30分

テーマ:コロナ問題とどう向き合うか

講師:大野 正英(研究センター社会科学研究)

参加対象:青年

申込み:右記の Google フォームに入力

参加費:無料(任意で豪雨災害寄付を募ります)

備考:ZOOM の URL は後日メールで案内します



ご好評につき第2弾!『ニューモラル』SNS キャンペーン 電子版 無料公開中!

5月に実施し、多くの皆様にご好評いただきました『ニューモラル』SNS 家族のきずなキャンペーン。

第2弾として9月1日より『ニューモラル』SNS 全国敬老キャンペーンを実施します。特別号の電子

書籍や朗読音声を無料で配信いたします。

キャンペーンページ URL、QR は下記から

https://www.moralogy.jp/nm_sns_cp

※『ニューモラル』全国敬老キャンペーン特別号は既刊号(H29、H30)です。

お問合せ:青年育成課 [TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) 広報出版部 [TEL:04-7173-3547](tel:04-7173-3547)



靖国の心を未来へ！ 第6回 感謝の心をつなぐ青年フォーラム

8月15日に靖国神社におきまして、『第6回靖国の心を未来へ！
感謝の心をつなぐ青年フォーラム』が開催されました。



例年は靖国神社の参道のテントにて開催されていましたが、今年は靖国神社境内の啓照館にて、一部参加者と、ネット配信のハイブリッド型で開催されました。今回は学研メンバー5名と関東ブロックと東京ブロックの青年メンバー有志で会場案内、舞台周りのサポート運営のお手伝いに行ってきました。

フォーラムでは、外国人留学生の発表や、提言発表、昨年の学生セミナーの講師だった井上和彦氏、柿崎ゆうじ監督、そして女優の伊藤つかささんとの特別提言なども行われ、ネット視聴も2万2000人と多くの方が参加しました。

ブロック青年育成担当・青年代表 オンライン会議 開催

令和2年8月1日に、ブロック青年育成担当、22日にブロック青年代表のオンライン会議を今回は、重点的に意見交換ができるようにと別々での開催をしました。

コロナ禍状況で、私たちはどのように道德の力を発揮し、人々や社会の幸せに貢献できるのか、オンラインの活用に重点を置いて学習・活動の展開を検討しました。

今年度、2月京都での開催予定だった都道府県青年代表研修会をオンライン開催に切り替え、次年度の全国青年大会in東北も、オンラインを活用しての開催で意向が固まりました。



各地でオンラインを活用した学習会、交流会も増えてきており、今後がますます楽しみになってきました。

次回は10月18日に合同会議を行う予定です。

山元 賢治講師による オンライン講演会

令和2年8月21日(金)、長谷虎紡績の長谷社長のお声かけで、学生研究会メンバーに山元賢治講師のお話を聞く機会をいただきました。本来であれば、この日に全国学生モラロジー研究会でご講演いただく予定でした。



アップル・ジャパン社長を経て、現在は株式会社コミュニカを立ち上げ、世界で活躍するリーダー育成に取り組まれている山元講師のお話は、とても刺激的で、これまでの常識では通用しない時代にどう生きるべきかを、ご自身の体験を通してアドバイスいただきました。

時間も延長して学生の質問を受けていただき、3月の学生セミナーに向けて、大きな力をいただいた時間となりました。

令和専攻塾 開塾記念WEB特別講演会

櫻井よしこ塾長による WEB 講演会を開催します。全国どなたでも視聴できます。ぜひご視聴ください。

演 題:「21世紀の国難を乗り越える～令和日本のあるべき姿～」

視聴期間:9月13日(日)13時～14日(月)12時

視 聴 料:1,000 円(税込)

申 込 先:研究所HP (https://www.morology.jp/activities/reiwa_senkou_jyuku/)

自分の国に誇りを持ち、国のために何ができるか考えよう！

○自分の国を知る(伝統文化と国民精神)

新型コロナウイルス感染拡大防止で、各国の取り組みに違いがあり、とても驚かされます。日本

は、手洗い・マスクなどの衛生意識が高く、挨拶でハグやキスなどの身体的接触の慣習がなく、政府や自治体の自粛や休業要請に、多くの国民が従っています。そのおかげで、感染拡大にある程度歯止めがかかっているとされます。

また、医療水準の高さは世界一流であり、すべての国民が公的医療保険に入っているという国民皆保険制度は誇りです。

これらのことは、伝統や国民性と呼ばれるもので、歴史を積み重ねる中で、先人先輩が努力して下さったおかげによって作り上げられてきたものです。

○パスポートの持つ力

命の次に大切なものは「パスポート」と言われます。なぜでしょうか？

パスポートには、こう書かれています。

「日本国民である本旅券の所持人を通路 故障なく旅行させ、かつ、同人に必要な保護 扶助を与えられるよう関係の諸官に要請する。日本国外務大臣」。

発行人が日本国とあるのが重要で、国がこのパスポートを持っている人を、正式に自国民と認め、必要な場合は助けてあげてほしいと要請しているのです。国の信用度が重要になります。海外での日本の信用度は、抜群に高いのです。



○私の経験

今から50年ほど前に、東南アジアのカンボジアで内戦が起こり、多くの人々が、隣国のタイに脱出し難民になりました。

私事ですが、今から40年前に、タイにあるカンボジア難民キャンプに行ったことがあります。自分の国を捨てざるを得なくなった悲しみ、祖国に帰れないことの苦悩を知りました。

○復興後のカンボジアと日本

徐々にですが復興しており、日本も多額の政府開発援助(ODA)を拠出して支援してきました。中でも有名なのが、カンボジア日本友好橋(きずな橋)です。



カンボジアでよく使われる500リエル紙幣(日本円で13円)の裏面にも描かれており、近年発行された新500リエル紙幣には、新たに建設された新友好橋(つばさ橋)が日本の国旗と共に描かれています。他国の国旗が紙幣に描かれていることは、世界では珍しいことで、カンボジアの日本に対する好意的な思いを感じます。

○小学校建設とその後

モロロジー研究所は、姉妹法人である「一般財団法人 麗澤海外開発協会」と共に、学校を建設するNGOの協力を得て、15年前から、小学校3校の校舎建設を行いました。私たち夫婦も、その1校目の竣工式に出席しました。住民も一緒に参加するととてもアットホームな式典に感動しました。

なお、特記すべきは、麗澤大学生のサークル(サークル名「PLUS+」)が、現在でも、3つの小学校と交流してくれています。交通安全教室や団扇作りをしたり、子供たちに希望と喜びを与える活動をしてきて、大変嬉しく思っています。

最高道徳の格言

麗澤モロロジー研究所

○国家共同体の役割

カンボジアの例からわかるように、国民の生活や人生は、国家の働きに支えられて成り立っており、一度、国家の形が壊れると、その修復は容易ではありません。

国は、政治・経済・教育などを秩序づけ、異なった考えや利害を持つ人々の要求の調和を図っており、すべての集団や組織を包み込む包括的な共同体であるだけでなく、歴史と文化を共有する精神共同体です。

つまり、精神的なつながりがあってこそ、国家がその機能を果たすことができ、祖国愛・愛国心と言われるものは、自国の歴史や文化を誇りに思う心から生まれ、国民のアイデンティティの基礎になります。

また、祖国の発展の原動力になり、外敵からは自国を守るために立ち上がる勇気を与えてくれます。

○国家と国民の関係

アメリカ大統領の故ジョン・F・ケネディが言った有名な言葉があります。「国家があなたがたのために何ができるかを問うのではなく、あなたが国家のために何ができるのかを問うてほしい」。国民一人ひとりが、国の維持と発展に向けて努力することは、とても大切なことです。

○若者の意識調査からみた現状

しかし、日本の現状はどうでしょう。ここに世界の9か国で、18歳を対象にした意識調査の報告があります(日本財団調査、2019.11.30発表)。

その中に、「どのようにして国の役に立ちたいか」という質問があり、日本人の意識が全体に低いのに加えて、「国の役に立ちたいと思わない」という回答が14.2%もあり、他国に比べて一番高い数字が出ていました。

○私たちにできること

私たち国民は、国の維持・発展のために尽力いただいた先人先輩から、多くのものを頂いているにも関わらず、何もお返しできていないと私は感じています。

そこで私は提案します。「①まず、自分の国・日本を誇りに思うこと、②その気持ちを周りの人や次世代の人たちに伝えること」から始めてはいかがでしょうか？ 簡単そうで難しいかも知れません。その上で仲間になった方々と、「国に対して何かできることはないか」を一緒に考えてはいかがでしょうか！

(土谷 和光)

【お知らせ】

次号は、令和2年9月10日です

基本的に毎月第2、4週配信！

活動情報、ご意見、ご感想など声をお聞かせください。

MANY事務局へ

[発行・編集]

公益財団法人モラロジー研究所 青年育成課

(<https://www.facebook.com/moralogy.many>)

住所:〒277-8654 千葉県柏市光ヶ丘 2-1-1

[TEL:04-7173-3312](tel:04-7173-3312) FAX:04-7173-3259

※掲載記事の無断での転載、再配布はお断りいたします。事務局までご一報ください。